

おしらせ information

介護支援専門員 実務研修受講試験

試験日 10月28日(日)
試験会場 米子コンベンションセンターほか
受験対象者 介護等の業務経験が5年以上の人
試験内容 筆記試験(取得資格により解答免除あり)
申込期限 8月15日(水)
問合せ 県社会福祉協議会 福祉人材部(鳥取市伏野)
電話 0857-596336
申込書は役場健康福祉課にあります。

消防職員採用試験

募集職種 消防吏員3人
応募資格 昭和55年4月2日以降に生まれた人
試験日程 ▼第1次試験(教養試験・体力試験) 9月30日(日) ▼第2次試験(面接試験・作文試験・健康審査・消防適性検査) 10月下旬
採用予定 平成20年4月1日
申込期間 8月27日(月)

9月11日(火) 当日消印有効

受付場所 県西部広域行政管理組合 消防局 総務課(電話 0859-351951)

日野高等学校同窓会を設立

旧日野産業高等学校鏡陵同窓会、旧根雨高等学校双葉同窓会、日野高等学校同窓会が合併し、新しく日野高等学校同窓会を設立することになりました。

▼設立同窓会

期日 8月25日(土)
会場 総会 町文化センター(午前10時)、懇談会 山村開発センター(正午)
対象 3校の同窓会員
オープニングセレモニーとして、日野高等学校郷土芸能部による荒神神楽が上演される予定です。
申込み・問合せ 日野高等学校(電話 72-0365)

航空自衛隊体験搭乗

航空自衛隊美保基地の体験搭乗の一般募集を次のとおり行います。

体験搭乗日 9月16日(日)

募集人数 220人

搭乗機種 C-1輸送機

応募要領 はがきに搭乗者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入して申し込んでください(小学生は学年も記入)。はがき1枚につき2人まで申し込めます。

募集は小学生以上です。小学生の場合は、保護者との2人の申込みになります。

応募期限 8月20日(月)必着

搭乗者発表 応募者から抽選し、当選者には8月27日(月)に搭乗券等の発送をもってお知らせします。

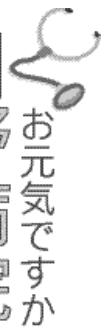
応募先・問合せ 〒684-0053 境港市小篠津町2-258 航空自衛隊 美保基地 渉外室(電話 0859-450211)

平成19年度 町成人式

とき 8月15日(水) 午前9時00分～
ところ 町文化センター
該当者 昭和62年4月2日～昭和63年4月1日生まれの人
内容 式典【午前9時～午前10時】
記念講演【午前10時～午前11時30分】
講師：浜田珠鳳さん(指画家、根雨出身)
演題「新成人に贈ることば」

- 該当者には別途ご案内します
- 該当者で案内がなかった人のうち、出席を希望する人は、7月27日(金)までに教育委員会事務局までご連絡ください。
- 成人式・記念講演は一般の方も参加できますので、多数ご参加ください。

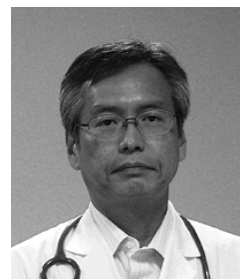
問合せ 町教育委員会事務局 担当 飛田(電話 72-2107)



日野病院です

病院長のひとりごと

— 患者数について —



日野病院長 櫃田 豊

外来患者延数は年々減少

今回は外来患者さんについてお話しします。

図1は日野病院の外来患者延数の年次推移を示したものです。(外来患者延数とは、各外来診療科を受診された患者数です)平成13年度には7万4000人余りでしたが、その後は1年ごとに4000人

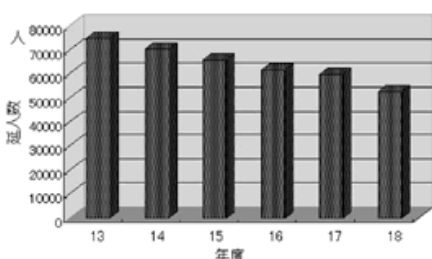


図1. 外来患者数の推移

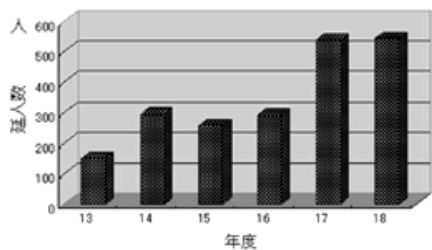


図2. 訪問診療利用者延数の推移

程度減少し、平成18年度には5万3000人弱となりました。平成18年度は平成13年度に比較すると30%近くも減少したことになります。平成18年度の診療科ごとの外来患者延数は、心療内科を除く全ての診療科で減少しました。減少の程度は婦人科と耳鼻科で顕著でした。内科についてみると、全体の外来患者延数は20%程度減少していますが、訪問診療利用者延数は年々増えていきます(図2)。

医療保険制度改革も原因に

図3は厚生労働省が発表している全国の病院(診療所を含む)の1日平均外来患者数の年次推移です。毎年増加してきましたが平成12年度をピークに減少に転じています。外来患者延数の減少は、日野病院だけではなく全国の多くの病院に共通する問題と言えます。

外来患者延数が減少してきた理由を考えるうえで、外来患者実数の減少によるのか、それとも受診回数の減少によるのかを明らかにすることは重要です。そこで日野病院は1年間のレセプト枚数から月平均の外来レセプト枚数を調べてみました(注)。

図4に示しましたように、月平均外来レセプト枚数は2100枚前後で平成14年からほとんど変化していません。日野病院の外来患者延数の減少は、主として受診回数の減少によることが分かりました。外来患者延数の減少が全国レベルの問題であることを考えれば、日野病院の場合もその主な理由は、最近の医療保険制度改革(医療費の自己負担の増額、介護保険制度の実施、薬剤の投与日数規定の原則廃止など)の影響と考えざるを得ません。

るを得ません。

その結果として、治療中断には到っていないものの、特

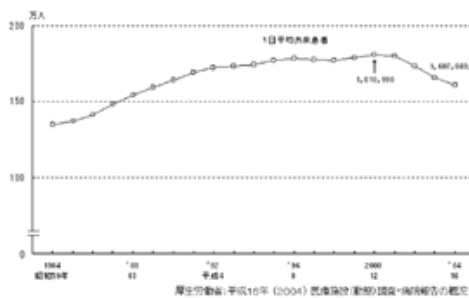


図3. 全国における外来患者数の推移

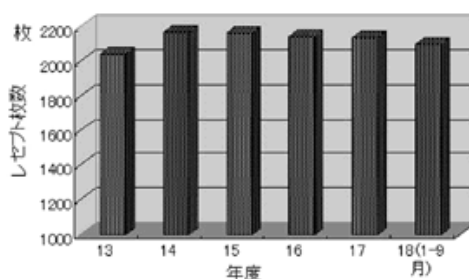


図4. 月平均外来レセプト枚数の推移

診療部門の充実のため、訪問診療体制を強化

さて、このような外来患者延数の減少に対して、日野病院としてはどのように対応すべきでしょうか。

に合わせ一部外来部門を縮小し、今後発展すべき診療部門の拡大と充実を図るというものです。

その一環として、訪問診療利用者延数の増加に対応するため、6月から月・木・金曜日の内科午後診療を廃止し、担当医師2名により訪問診療が毎日行える体制としました。

今までも内科午後診療をご利用いただいた患者さんには、定期受診日の変更などでご迷惑をお掛けしますが、日野病院やこの地域の実情をご理解のうえ、ご協力いただければ幸いです。

現在私たちが考えている対応策は、外来患者延数の減少一人に対し、受診日数にかかわらず月に1枚発行する明細書です。

に高齢の患者さんを中心に『受診控え』が起きている可能性が考えられます。

注「レセプトとは、病院が医療費を保険者(各自が加入している健康保険)に請求する際、患者一人に対し、受診日数にかかわらず月に1枚発行する明細書です。